



昭和シェル社友会 四日市支部

支部ホームページ : <http://www4.cty-net.ne.jp/~v-shayki/index.html>**謹賀新年****紙上展覧会の開催を検討します**

支部長 溝川 紳一

あけましておめでとうございます。

コロナ禍の中、皆様がそれぞれ感染防止に努められて平穏に新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。一昨年・昨年ともに新型コロナウイルス感染拡大をうけて、ほとんどの行事を中止したので皆様とお会いできなかったのが残念でなりません。

本年は、下段のように行事を計画しています。しかし、年末年始の連休明けから変異種のオミクロン株への感染が急速に拡大しており、予断を許さない状況となってきました。感染状況を勘案して各行事の実施の可否を決定していきます。行事が出来ないときには、「支部だより」紙上で趣味の作品を写真にした「紙上展覧会」の開催も検討したいと思います。次号でその詳細をお知らせいたします。

さて、今年度の「支部執行体制」は右欄に掲載いたしましたとおり全役員が留任することといたしました。支部幹事の補充が急務です。今後も皆様のバックアップとご協力を願います。

会員の動き (敬称略)

◎支部会員数 307名 (1月12日現在)

◎新入会者

松並 治 ('21年6月)

◎お悔やみ

越中 昭義 '20年12月28日 (91歳)

下井 久一 '21年 7月20日 (70歳)

高橋 昭吉 10月27日 (93歳)

中西 茂 11月 2日 (85歳)

後藤 卓宏 12月 7日 (87歳)

駒田 叔男 '22年 1月10日 (83歳)

2022年度支部執行体制

支部長 溝川 紳一 (支部業務総括、慶弔、広報、
るいとう会担当)

副支部長 市川 義行 (事務局、慶弔、るいとう会担当、
兼 事務局 同好会担当、支部HPサポート)

幹 事 藤波 耕造 (全国大会実行委員、
懇親会主担当、旅行会副担当)

幹 事 谷崎 雅敏 (旅行会主担当、社会貢献担当、
懇親会副担当)

会計監査 佐合 香

支部ホームページ専任委員 永田 修三

2022年度 年間活動計画

次の行事を計画していますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。詳細は、「支部だより」やEメール等でその都度お知らせいたします。(新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大状況により変更の可能性あります。)

- | | | |
|---------------------|-----------------------------|---|
| (1) 支部総会・新春懇親会 | 中止決定 | (総会資料は郵送する。) |
| (2) 緊急連絡者会議 | 3月17日(木) 塩浜クラブ | 10:30~ |
| (3) 春の日帰り旅行 | 4月 4日(月) …予定 | (COVID-19感染状況、ワクチン接種・検査パッケージ等の利用の可否等を検討して決定) |
| (4) ハイキング会(春)/(秋) | 5月14日(土) / 11月12日(土) | コース未定 |
| (5) 夏季懇親会 | 8月25日(木) …予定 | (COVID-19感染状況、ワクチン接種・検査パッケージ等の利用、会場と懇親会の形式等を検討) |
| (6) 全国大会
観光・見学 | 11月 本部と関東支部との全国大会実行委員会で検討 | (COVID-19感染状況勘案) |
| (7) 忘年会 | 12月 3日(土) 四日市市内 | 開催の可否要検討
(COVID-19感染状況、ワクチン接種・検査パッケージ等の利用、会場と懇親会の形式等を検討) |
| (8) 社会貢献活動 | | |
| ・鈴鹿川クリーン作戦 | 3月12日(土) 予定(鈴鹿川堤防の清掃) | ・(COVID-19感染状況勘案) |
| ・RIJ募金 | | 旅行会、夏季懇親会、忘年会時に実施予定 |
| (9) 「四日市支部だより」の発行予定 | 年4回 (1月、4月、7月、10月) | |
| (10) 支部ホームページの更新 | 各月の初~中旬、アドレスは支部だより題字下欄に記載。 | |
| (11) 幹事会の開催 | 年9回(原則、毎月第3木曜日、休会は2月、6月、8月) | |
| (12) 同好会 | | |
| ◎ゴルフ部 | … コンペ4月・10月、中部支部との交流コンペ9月 | (COVID-19感染状況勘案) |
| ◎ウォーキング部 | … 原則毎月第2土曜日 | (COVID-19感染状況勘案) |
| ◎つり部 | … 釣りを年に数回 | (COVID-19感染状況勘案) |

2021年度秋のハイキング会

中風封じの「田村寺」から「垂坂公園」へ

1. 開催日 : 2021年11月13日(土)
2. ルート : 近鉄「川越富洲原」駅→田村寺→茂福神社
→伊賀留我神社(北)→伊賀留我神社(南)→浄恩寺
→垂坂公園(昼食)→「霞ヶ浦」駅 距離 : 約11km
3. 参加者 12名 : 市川(義)・伊藤(利)・伊橋・喜吉・塩野・高木(勉)
(姓のみ・敬称略) 伝田・中村(軍)・中村(衛)・濱田(一)・福本・溝川



中風封じの「田村寺」

コロナ禍で、令和2年2月に開催した支部総会・新春懇親会を最後にほとんどの行事が中止となりました。そのような中、ハイキング会は昨年11月の開催に続き、約1年ぶりとなる社友会行事となりました。

当日は小春日和のような温かい晴天の中、木造から橋上駅舎に建直されたキレイで清潔感のある近鉄「川越富洲原」駅西口に集合しました。1年ぶりの再会となりましたが、皆さん変わりなく元気で何かホッと安心しました。

今回のコースはお寺と氏神様を巡るコースです。地元巡りの旅に、さあ出発です。

まず最初に向かったのが、冬至の日のにカボチャと小豆で作った「ぜんざい」が振舞われるので「かぼちゃ大師」として親しまれている中風封じの法要で有名な「田村寺」でした。今では「中風」は聞きなれなくなっていますが「脳卒中」のような病気のことだそうです。全員が真剣に手を合わせて「中風封じ」を祈願しました。

「田村寺」を出て旧東海道に入って「右 富田一色、東洋紡績、川越村 道」や「津市元標へ拾里」などの道標や「間の宿 富田」の案内板などを見ながら四日市方面へ南下する。

富田は桑名宿と四日市宿の間にある立場の中で最も



垂坂公園で初冬の日差しを受けて

大きく間(あい)の宿と呼ばれていたそうです。旧東海道沿いの「富田小学校」校庭横に「明治天皇御駐輦(ごちゅうれん)跡」と刻まれた黒い色の石碑が立っていました。御駐輦とは天子がみくるまをとどめられることで、宿泊、休憩をされる意で用いられ、ここには明治天皇が東京へ向かう明治元年9月25日と京へ戻る12月8日、神器を奉じていよいよ東京に遷都される明治2年3月15日の三度ご休憩され、名物の「富田の焼き蛤」をご賞味になられたという。

十四川の小さな橋を渡った先の「薬師寺」とお寺の境内で小休止した後に向かったのは、「光明山 常照寺」というお寺です。境内も広く大きなお寺で本堂の右側には親鸞聖人御像があり、またその横には「大寺の薨の反りや秋の雲」の句碑がありました。常照寺から「茂福神社」へ向かう。地元からの参加者によると茂福(もちぶく)と濁るのが正しい呼び名だそうです。子供の頃はよく遊んだ所とのこと。茂福神社の近く、近鉄名古屋線の線路脇に「茂福城址」が見えてきました。残った土塁跡に椰(なぎ)の木が大きく枝を広げていたが、横目に見て通り過ぎて一面稲刈りの終わった田ばかりの農道をゆったり歩きました。

やがて、到着したのは「伊賀留我神社」でした。ここには2019年春のハイキング会で立ち寄ったことがあり、当時は即位の祝賀のぼりが境内に掲げられ賑やかな雰囲気だったが、今回は閑散としておりました。以前にあったトイレが無くなっていて少しばかり我慢することとしました。

そこから200mほど歩くと別の神社につきました。扁額をみると「伊賀留我神社」とありました。近いところに同じ名前の神社があり不思議でしたが、寛永年間(1624~1643年)に村が南北に分かれて分社されたようです。幸いここにはトイレがあったので借用して一息つけました。

この後は、途中のコンビニで昼食の飲食物を仕込んで「垂坂公園」まで歩き、広々とした日当たりの良い場所を確保して乾杯となりました。立冬が過ぎたとはいえ小春日和の中、ひゃー!!最初のビールの一口が何とも言えない。しかし適切な距離を確保しつつの飲食とはいえ、コロナ禍の中でもあり、人の目を気にしながらの昼食でした。

昼食後、みんなで集合写真を撮り、「近鉄霞ヶ浦駅」まで歩いて散会しました。風もなく好天に恵まれたハイキング会でした。

(支部HP掲載の市川(義)さんの寄稿文の要旨)

緊急時連絡先

緊急時の連絡は下記をお願いいたします。

1. 支部長 溝川 紳一 ☎ 059-346-2589
☎ 090-8674-6084
2. 副支部長 市川 義行 ☎ 059-370-0705
事務局 ☎ 090-2614-1826

- ・ご本人だけでなくご家族の方にもお伝え願います。
- ・緊急連絡情報は、社友会本部事務局へ連絡するとともに、ご承諾またはご要請がある場合、他支部会員にも連絡致します。
- ・本部事務局から出光興産(株)人事部人事サポート課に連絡が行き、企業年金関係手続きが行われることとなっておりますのでご了承願います。

同好会だより



ゴルフ部

第44回

四日市支部 OB 会ゴルフコンペ

◎ 開催日：2021年11月25日(木) ◎ 場所：名四CC

今回のコンペは、久しぶりの開催となりました。参加された皆さんは待ち望んでいたのではと思います。二名の方が初めて参加されるなど、皆さん昔話など会話が弾んでいました。

この日は穏やかな絶好のゴルフ日和となり、プレーを楽しまれたことと思います。

プレー後の表彰式は、感染対策のため時間を短縮し簡単に行われました。

今日一日楽しく過ごし、次回の再会を約束しながら解散となりました。皆さん是非コンペに参加して頂き、一緒に楽しみましょう。
「報告：藤波(耕)さん」



スタート前の集合写真

★ 成績

順位(ダブルペリア)	ニアピン賞	ドラゴン賞
優勝:高崎 敦	2番:堀 清	7番:高崎 敦
2位:堀 龍一	8番:高崎 敦	17番:莪山 茂隆
3位:堀 清	13番:北原 正孝	
4位:高橋 清人	16番:莪山 茂隆	<u>ベスグロ賞</u>
5位:石原 譲司		82 堀 龍一



プレー後のひととき

連絡先：佐藤 弘二 さん TEL059-326-0309



ウォーキング部

2021年7月例会

磯津と吉崎海岸を訪ねる

- 開催日：2021年7月10日(土)
- ルート：近鉄塩浜駅～小倉橋～鈴鹿川左岸～磯津橋
～磯津海岸～吉崎海岸～楠中央緑地～近鉄北楠駅
距離：約10.5km (14,500歩)
- 参加者 8名：伊藤(利)・伊橋・喜吉・伝田・中村(軍)・中村(衛)
(姓のみ・敬称略) 福本・濱田(一)



吉崎海岸のハマヒルガオ(四日市観光協会HPより)

『歩こうかい コロナかきわけ 田舎みち』自粛ムードの中、久しぶりのウォーキングを実行する。「近鉄塩浜駅」に9時30分集合。新築の「昭和四日市石油(株)」の事務所前で南へコースを取り、鈴鹿川の小倉橋北詰から左岸堤防を下流に向けて歩く。左側には四日市製油所の施設が、対岸には楠地区の原油タンクヤードが見える。20数年前の記憶が蘇り、懐かしさを感じながら歩く。鈴鹿川最下流の橋、磯津橋を渡って磯津地区へ。外周の堤防を歩いて磯津漁港に到着。対岸にハマヒルガオの咲く吉崎海岸が見える。花は咲いているかな？

10時45分吉崎海岸に到達する。待望のハマヒルガオは一輪もなくガッカリ。花期は5月中～6月中とのこと、またの機会に訪れてみよう。水分補給の休憩を摂ってから楠の中央緑地に向かう。

丁度12時に緑地に着いた。あずま屋の日陰で昼食を摂る。汗をかいた後のビールは格別に美味しい。コロナ渦の中、お互いに密にならない習慣が身に着いたのか、自然に間隔をあけて座っているから素晴らしい。一時間ほどゆっくりとしてから「近鉄北楠駅」まで歩き解散する。

(ホームページ掲載の濱田一さんの原文から要約)

同好会だより ウォーキング部

(続 き)

2021年10月例会 北勢中央公園をめざして

1. 開催日 : 2021年10月9日(土)
2. ルート : 近鉄富田駅=三岐大安駅~員弁川大泉橋
~大社橋~北勢中央公園~三岐保々駅~朝明川
~三岐山城駅=近鉄富田駅
距離 : 約15.5km (21,500歩)
3. 参加者 9名 : 伊藤(利)・伊橋・喜吉・高木(勉)・伝田・中村(軍)
(姓のみ・敬称略) 中村(衛)・福本・濱田(一)



北勢中央公園で

近鉄富田駅で三岐鉄道に乗り換え、いなべ市の大安駅で降り出発。

駅の近くの大井田御厨神社で今日1日の無事をお祈りをしてから30分ほど歩き、員弁川の大泉橋を渡り左岸の堤防道路を下る。道路傍の田には刈り取りが終わっていない黄金色の稲穂が残っている。暑く汗ばむ体に水分を補給するための休憩をとり息付いた。さらに歩いて東員町に入る。そして員弁川の大社橋(おおよしるばし)を渡る。大社とは橋の東方にある「猪名部神社」のことで、例大祭の上げ馬神事と流鏝馬が有名で多くの人を訪れる。

そろそろお昼ごろだが、公園のある小高い丘はまだ遠くに見えるだけで、南大社の集落の中をひたすら進む。山中の緩やかな坂道を歩いて到着したのは12時15分ごろであったろうか。

北勢中央公園に着くとすぐに弁当を開き、途中で買ったビールで乾いた喉を潤す。広い公園には子供の遊園地、野球場そしてテニスコートなどがあり、北勢地区の人たちの憩いの公園となっている。

昼食後、山城駅方向に歩を進める。途中、三岐・保々駅で3名の方と別れ、あとの6名は計画通り「三岐・山城駅」まで歩く。心地よい疲労を感じながら「近鉄富田駅」行きの電車で帰路についた。

(ホームページ掲載の濱田一さんの原文からの要約)

2021年12月例会(納会ウォーキング)

江戸橋から町屋海岸を経て

浜街道を歩いて千里へ

1. 開催日 : 2021年12月17日(土)
2. ルート : 近鉄江戸橋駅~町屋海岸~白塚浜街道
~河芸町一色~千里~千里ヶ丘
~近鉄千里駅
距離 : 約14km (21,000歩)
3. 参加者 9名 : 伊藤(利)・伊橋・喜吉・高木(勉)
(姓のみ・敬称略) 伝田・中村(軍)・中村(衛)・福本
濱田(一)



メンバーの自宅庭園で

今年の納会ウォーキングは津市の北部を歩くこととした。午前9時30分、近鉄江戸橋駅に集合する。江戸橋駅は三重大学と大学付属病院の玄関口である。

駅から東に歩いて志登茂川に架かる江戸橋を渡る。伊勢街道にふさわしかった木道の橋は、昨年立派な新橋に架け替えられていた。伊勢街道と伊勢別街道の分岐には常夜灯と高田本山道の案内石が残っている。

国道23号線を横切ってさらに歩いて伊勢湾の海岸線に出た。堤防道路には歩道もあって快適なウォークを楽しめる。右手に伊勢湾、左手に三重大学のキャンパスを見ながら歩く。大学内に風車が一基、風もなく止まっていた。そして乗馬サークルであろうか数頭の馬が優雅に歩いている。

堤防道路の歩道が無くなったので、町中を通る浜街道にコースを変えることとした。白塚の中心部にある「八雲神社」でお参りをして休憩をとる。

河芸町に入り、さらに浜街道を北に歩を進めていくと浄土真宗東大谷派「松林寺」門前の松の大木に遭遇する。樹齢500年だそうで毎年一度、クレーンを使って剪定しているとのことである。田中川に差し掛かったところで浜街道とはお別れをして忘年会を兼ねた昼食場所の千里ヶ丘に向かう。食事処での飲食を避けて参加者の自宅庭園で、幸いにも暖かい日差しを受けての豚汁パーティとなる。コロナに打ち勝った今年のウォーキングを振り返り、来年のコースなどを話し合う。

2時間ほどの会食を過ごした後、近鉄千里駅に向かい解散する。

(ホームページ掲載の濱田一さんの原文から要約)

連絡先 : 福本 泉 さん TEL059-321-6869



釣り天狗

新型コロナウイルス感染が収束したら、釣行にご参加ください。

連絡先 : 原川 孝光 さん TEL059-326-3287